

世界的な大流行を宣言



発行所
山形新聞社
山形市旅籠町2-5-12
電話 代表023(622)5271
Copyright (c) 2009
Yamagata Shimbun

2009年
6月12日
〈金曜日〉

速電
報版子

購読申し込み
(9-17時)

0120-81-8040

やまがた
ニュースオンライン

<http://yamagata-np.jp>

Mbi | eやましん

<http://yamagata-np.jp/k/>



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

警戒水準「6」に引き上げ

新型インフル WHO緊急委勧告受け

【ジュネーブ11日共同】新井琢也 世界保健機関（WHO）のチャン事務局長は11日、記者会見し、新型インフルエンザの警戒水準（フェーズ）を広域流行を意味する現行の「5」から最高の「6」に引き上げ、世界的な大流行（パンデミック）を宣言した。これに先立ち専門家による緊急委員会の電話会合が開かれ、事務局長に対し引き上げを勧告。事務局長は各国外交団に引き上げを通知した。



5月18日、ジュネーブでの世界保健機関（WHO）年次総会で、演説するチャン事務局長（AP=共同）

インフルエンザの世界の大流行は、約100万人が死亡した1968年の「香港風邪」以来、約40年ぶり。ただ今回はウイルスの病原性が低いことから、WHOは各国に国境閉鎖や渡航制限など過剰に反応しないよう呼び掛ける。日本など感染が広がっている各国当局による国内措置に大きな変更を迫ることはないと思われる。

WHO当局者によると、宣言に伴い、新型インフルエンザがもたらす感染者の健康被害について3段階の新たな評価基準を設定。「重度」より軽く「軽微」より重い「中」とする方針だ。新型インフルエンザに有効なワクチン製造についても勧告する見込み。ワクチンは既に主要国保健当局と世界の主要メーカーが開発の準備に入っており、7月にも生産が始まり今秋には本格的に流通する見通し。